



冬の学校
満喫

山桜の里 戸赤

冬の風物詩 凍み大根



1月7日山桜学校はホッコリ

雪を見たことのない方も含め首都圏・関西からの人は、大きな軽音楽で楽しい一夜を過ごしました。



凍み大根:大根を短冊状に切り、茹でて寒風にさらして作る家庭の保存食。煮物などに適する。最近は直売所でも人気。

花豆栽培

講習会



賀正

歳の神戸石



無病息災願!

スルメ焼き(上) 毛手焼き(下)

戸石集落では帰省客も参加して、今年歳の神はにぎやかでした。村の八割三十人以上が、降雪前村向かいの田んぼに作った会場に集まり午後六時点火。厄払いのみかんをまいたり、お神酒をふるまったり一年の無病息災を祈願しました。赤土では、各家で歳の神の火でその日の搗きたての丸め餅を棒にさし焼き、参加者が互いに一つまみ交換し食べる風習が今も続いています。歳の神の灰を身体の一部に塗って健康を願う気持ちはどこでも同じようです。

戸赤の花豆パイ・ショコラ・甘納豆・ロールケーキ出展予定
生産者(戸赤)の皆さん、試食に来てください。

南会津地方の地域産業6次化商品求評会

- 1 日時：平成 24 年 2 月 10 日(金)13 時 00 分
- 2 場所：御蔵入交流館
- 3 開催内容

- (1) 会津短期大学学生による食用ほおずきのパッケージデザイン発表
- (2) 求評用試作品出品者による商品説明及び参加者による試食
- (3) 参加者アンケート
- (4) アドバイザー(3名)によるアドバイス
 - ① 山際食採工房 山際博美 代表
 - ② NPO法人素材広場 横山純子 理事長
 - ③ (流通販売事業関係者を予定)

- 4 出展商品：南会津地方において生産されたトマト、食用ほおずき、花豆、エゴマを用いた加工食品で、試作段階または商品改良をめざすもの。
- 5 参加者：農産物生産者、アンケートモニター、商工業関係者、行政関係者等、約 80 名
- 6 その他：試作用提供品は主催者にて実費負担。当日、簡単な調理等が必要な場合は、会場内にある調理室の利用が可能です。

【主催者：南会津農林事務所】

【木地の学習No.15】伊勢参宮と水上詣 館岩村高杖の小椋家に伝えられた『伊勢参宮道中記』がある。嘉永3(1850)年に保城木地師 11 人が伊勢参りに出かけた際の道中記である。近世以降庶民の寺社参拝が盛んになり『道中記』の類がさして珍しくないほど残存している点からみると、あまり貴重とまではいえないものである。しかし、内容を別の観点で見るとやはり木地師特有の点が現れてくるものである。山王峠を越えて横川の番所を通るとき、「高松御所、御えふ(絵符)同行十屯人罷通り」と、いかにも誇らしげに記している。高松御所は根本地の君が畑金龍寺にあって木地師文書を発行した所である。絵符とは、荷物に着ける目印の木札のことで、高松御用と書き 16 弁菊花紋が描かれている。同小椋家には、もう 1 冊別の『道中記』がある。寛政 11(1799)年のものであるが、途中で筆を絶っているため、帰国の経路、月日が判明しない。残念なことに、現在同家では紛失してしまっただらしく見当たらないということである。しかし不幸中の幸いというべきか、寛永 3 年の『道中記』は、紛失以前に活字化されたため全容を把握することができる。奥会津地方歴史民俗資料館「木地語り」より (つづく)

いま、出来ることを 最大限に

村おこし実行委員
会役員の新春を
語ろう会



渡部義文：井戸
沢には不動滝が
ある。戸石の水
源の水はいいし、
あの水でのコー
ヒーはうまい。

夏の冷たい風は売
物になる。川床もや
つてみたい。紅梅御
前宮に関係する場
所を結んだルート
でイベントをし
けるとか、年間通し
てお客様が楽しめ
る場所にした
室井静江：都会に行つた
子供たちが、友達を連れて
きたいと思つていよう
や、まるごと学校を貸し切
るなど、よそではできない
良さがある。楽しいことを
よその人から教わるのも
いいと思う。



渡部利男：村が観光で活
化を図るためには観光資源、
受け入れ体制などの整備を
しなければなら
ない。それには
山桜学校を地域
おこしの中心と
してどのように
動かしていくか
が問題だ。みん
なの知恵と力が集まる村づ
くりを進めていきたい。



室井春雄：山桜、木地挽
き、炭焼きに加えて花豆が
地域おこしの素材になろ
うとしている。以前に手製
の水車で発電し自家消費
する夢があったが、もし実
現できれば先進事例とな
ることは間違いない。



小椋由典：山桜を
宣伝するためにも、
いつでも事務局と
して対応できる体
制がほしい。ネット
で人材を募集して
常駐させるのも一
つの手だ。学校をオ
ープンにしておく
ことが、ひとつひと
つ解決に結びつく。



渡部恵子：自
宅のパソコン
で戸赤の在り
のままの姿を
リアルタイム
に発信したい。
いまの回線では高度化する機器に対
応できなくなっている。せめて携帯
電話が使えれば手段はある。情報を
広めて行くには通信網の整
備が絶対に必要と思う。

昨年やまざく
ら祭りができ
なかつたこと
の反省を兼ね、
1月3日村おこ
し実行委員会
の役員は、風邪
などで参加で
きなかつたひ
ともいましたが、新年への抱
負など語り合
いました。



星隆雄：戸赤では今の炭窯(白窯の
わきに花炭もできる黒炭(けし)窯
を作ることも楽しみにつながらるので
はないか。ソバ食堂などあれば魅力
がもう一つ増える。多目的広場を舗
装にすればもつとは使い勝手が良く
なるので
なんと
なれば
思ふの
だ

2月18日(土)中山での「雪・月・火」は東武・会津鉄道、
湯野上温泉などとの連携でPRを行っています。

・1日目：浅草→大内→中
山→湯野上泊・2日目：観
音沼雪遊び→道の駅→
白河→東京(3名以上1室
大人おひとり様9,800円
…募集人員 40名最小催
行人員 25名：会津応援
モニターツアー第2弾)

会津応援モニターツアー第2弾!!

人気の **会津鉄道お座敷トロッコ列車と**
湯野上温泉 なかやま

雪月火

「せつげっか」

東武会津線会津駅・湯野上駅

(花豆の学習[No.14])

◎側枝の整理、摘芯、追肥、樹上乾燥の原理と効果

①側枝の整理 生育初期からツルが混
み合わないよう(集中しないよう)に誘導する。葉が重なりあいと…病気が発
生→病葉の葉かき→葉の減少→生育不良。…日光が当たらない→光合成でき
ない→生育不良。従って、病気になる前に早期からツルの誘導や葉かきをして整
理しておく。**②摘芯** ツルが天井部に届いた時点で摘芯を行い、天井部から日
光が入るようにする。・日光の確保→光合成活発 ・栄養生長が弱まる→サヤ
の生長が促進→収穫が早くなる→増収 ・通気性が良好→黄化サヤが早く乾燥
→病気が発生しにくい。



(南会津農林事務所農業振興普及部資料から) (つづく)